

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 5 年 8 月 14 日(2023.8.14)

【公開番号】特開 2022-29839(P2022-29839A)  
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-030  
【出願番号】特願 2020-133366(P2020-133366)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00(2006.01)

G 0 6 F 3/0484(2022.01)

G 0 3 G 21/00(2006.01)

B 4 1 J 29/42(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 3 5 0

G 0 6 F 3/0484

G 0 3 G 21/00 3 7 0

G 0 3 G 21/00 3 8 6

B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 2 日(2023.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読取装置であって、

原稿読み取り処理を含む第 1 処理を実行するためのオブジェクトである所定のオブジェクトを表示する第 1 表示制御手段と、

前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部と、前記第 1 処理の実行の確認をユーザから受け付ける所定のソフトキーとを含む確認画面を、前記所定のオブジェクトに対するユーザ操作の受付に基づいて表示する第 2 表示制御手段と、

前記第 1 処理に含まれる前記原稿読み取り処理の少なくとも一部を、前記確認画面の表示と並行して実行する実行手段と、  
を有することを特徴とする読取装置。

【請求項 2】

前記第 1 処理は、前記原稿読み取り処理によって生成されたデータを送信する処理を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の読取装置。

【請求項 3】

前記確認画面において、前記第 1 処理の実行をキャンセルするための操作が受け付けられると、前記第 1 処理がキャンセルされることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の読取装置。

【請求項 4】

前記確認画面において、前記第 1 処理の実行をキャンセルするための操作が受け付けられると、前記確認画面の表示と並行して実行された前記原稿読み取り処理の少なくとも一部によって生成されたデータを削除する削除手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

10

20

30

40

50

## 【請求項 5】

前記所定のソフトキーに対するユーザ操作が受け付けられるまで、前記第 1 処理に含まれる所定の処理が実行されず、  
前記所定のソフトキーに対するユーザ操作が受け付けられることで、前記所定の処理が実行されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

## 【請求項 6】

前記所定の処理は、前記原稿読み取り処理によって生成されたデータを送信する処理を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の読取装置。

## 【請求項 7】

前記所定のオブジェクトに対するユーザ操作が受け付けられた場合、前記第 1 処理の設定を行うための設定画面が表示されることなく、前記第 1 処理に含まれる前記原稿読み取り処理の少なくとも一部の実行が開始されることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

10

## 【請求項 8】

前記所定のオブジェクトは、ユーザの登録操作により前記読取装置のメニュー画面に表示されるオブジェクトであり、  
前記登録操作は、前記第 1 処理の設定を行うための設定画面に対する操作を含み、  
前記所定のオブジェクトが操作された場合、前記登録操作によって選択された設定に基づく前記第 1 処理が、前記所定のオブジェクトが操作された後に前記設定画面が表示されることなく開始されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

20

## 【請求項 9】

前記確認画面には、前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部として、前記原稿読み取り処理によって生成されるデータの送信先が表示されることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

## 【請求項 10】

前記確認画面には、前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部として、前記原稿読み取り処理における解像度の設定内容、原稿サイズの設定内容、ファイル形式の設定内容のうち少なくとも一つが含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

## 【請求項 11】

前記確認画面には、前記確認画面に表示された前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部を変更するための変更ソフトキーが含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

30

## 【請求項 12】

前記確認画面には、  
前記原稿読み取り処理に関する設定内容の少なくとも一部を変更するための変更ソフトキーは表示されず、  
前記第 1 処理のうち前記原稿読み取り処理以外の処理に関する設定内容を変更するための変更ソフトキーが表示されることを特徴とする請求項 11 に記載の読取装置。

## 【請求項 13】

前記確認画面に表示されない変更ソフトキーであり、前記原稿読み取り処理に関する設定内容の少なくとも一部を変更するための変更ソフトキーは、前記原稿読み取り処理における解像度の設定内容、原稿サイズの設定内容のうち少なくとも一つを変更するための変更ソフトキーであることを特徴とする請求項 12 に記載の読取装置。

40

## 【請求項 14】

前記確認画面に表示される変更ソフトキーであり、前記第 1 処理のうち前記原稿読み取り処理以外の処理に関する設定内容を変更するための変更ソフトキーは、前記原稿読み取り処理によって生成されるデータの送信先を変更するための変更ソフトキーであることを特徴とする請求項 12 または 13 に記載の読取装置。

## 【請求項 15】

50

前記第 1 処理は、前記原稿読み取り処理によって生成されたデータを外部に送信するスキャン送信処理であることを特徴とする請求項 1 に記載の読取装置。

【請求項 16】

前記第 1 処理は、前記原稿読み取り処理によって生成されたデータを印刷するコピー処理であることを特徴とする請求項 1 に記載の読取装置。

【請求項 17】

前記読取装置は、スキャナ装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 16 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

【請求項 18】

前記読取装置は、印刷装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 17 のいずれか 1 項に記載の読取装置。

10

【請求項 19】

読取装置であって、

原稿読み取り処理を含む第 1 処理を実行するためのオブジェクトである所定のオブジェクトを表示する第 1 表示制御ステップと、

前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部と、前記第 1 処理の実行の確認をユーザから受け付ける所定のソフトキーを含む確認画面を、前記所定のオブジェクトに対するユーザ操作の受付に基づいて表示する第 2 表示制御ステップと、

前記第 1 処理に含まれる前記原稿読み取り処理の少なくとも一部を、前記確認画面の表示と並行して実行する実行ステップと、

20

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 20】

請求項 1 乃至 18 のいずれか 1 項に記載の読取装置の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

30

読取装置であって、原稿読み取り処理を含む第 1 処理を実行するためのオブジェクトである所定のオブジェクトを表示する第 1 表示制御手段と、前記第 1 処理の設定内容の少なくとも一部と、前記第 1 処理の実行の確認をユーザから受け付ける所定のソフトキーを含む確認画面を、前記所定のオブジェクトに対するユーザ操作の受付に基づいて表示する第 2 表示制御手段と、前記第 1 処理に含まれる前記原稿読み取り処理の少なくとも一部を、前記確認画面の表示と並行して実行する実行手段と、を有することを特徴とする。

40